

やっぱり特別？！

2003年9月20日

8月中旬から「車椅子でおでかけ」というガイドブック作りに取り組んでいますが、残念な事にまだまだ世間では「車椅子に乗っている人は特別！」とされているようです。

電話帳のタウンページを開き次から次へと電話をかけ、店内の状況を聞いていますが対応は様々です。例えば「車椅子でご利用できる特別な造りにはなっていませんが・・・」という返事がいちばん多いかな？？

ものすごく迷惑そうに対応する所もありますが、そういう所はたとえ設備が整っていたとしても、こちらの方からお断り！！また、中には「入口も店内もほとんど段差が無いから大丈夫だと思いますよ。」と、とても親切な対応で、いい感じだな～と思いつつ「トイレの方は・・・」と聞くと、「和式ですが？」(^_^;)とか、こちらが最初から店内の段差やトイレが洋式か？って事を尋ねると、「店内ほとんど段差は無いし、トイレも洋式で結構広いから大丈夫ですよ。只、うち2階なんですよ～！」って、明るく優しく言われた時にゃ～、あ～た、感謝を込めて「どうも、ありがとうございました～！」てな具合に言うしかないでしょう。(;>_<)

これはほんの一例ですが、車椅子だと何が不便なのか？って事を、ほとんどの所(多くの人)が、理解していないんだなと改めて思い知らされました。健常者に障害者の気持ちになれと言っても無理ですが、もし自分だったらどうだろうか？と考える事はできるでしょう。

目の見えない人が席に着こうとしている時、お店の従業員が「どうぞこちらへ」と誘導し「スツ」とイスを引いて座らせてくれる。こういう光景を見たとしたら皆さんは、「お客さんだから当たり前」・「すごいな～、偉いな～」と思いますか？私は、これって誰もが出来る気配りだと思います。この場合たまたま目の不自由な人でしたが、たとえ障害を持っていなくても急に雨に降られてびしょ濡れになったお客さんが来たら、タオルとかおしぼりを持って行くでしょう？(知らんぷりの人もいるかも??)

仕事じゃなくても、自分がその立場に立って考えられる人や気付くように努力している人は、障害が有る無しに関わらず、人に対しての気遣いや気配りが出来るんじゃないでしょうか？(自分の事で精一杯って人もたくさんいますが・・・)

先日、室蘭から来てくれた友達を含め5人で、十勝川温泉に泊まりに行行って来ました。(^^)v
取材も兼ねていた為、部屋やトイレ等をチェック！！車椅子でも対応できるバリアフリーの部屋や入口とか室内の段差が無い洋室があるホテルは何件かありましたが、特別室ということで値段が普通の部屋に比べると倍から倍以上でした。(何でやねん!!)

一応、わたくし個人の意見として、車椅子に乗ろうが乗るまいが同じ人間だし、対等でなければいけないのにどうして特別扱いされるんでしょう。そりゃ～お金もかかったかも知れないけど、これだけしてやったんだから値段が高くて当然って風にも感じるのは、私だけ？・・・てな事を言って参りました。(取材に協力してくれたのに、すいません。m(_ _)m)

“バリアフリー”や“ユニバーサルデザイン”等で、「誰もが気軽に使いやすく住み良い街に」とは言っているけど、使いやすくなった分、値段が高いんじゃない使いたくても使えないですよネ。

“バリアフリー”という言葉だけが先走りして、肝心の“心”が付いて行っていないような気がします。(障害を持つ者への優しさから生まれた“バリアフリー”が、利益だけを考えた商売道具では・・・)

何処へ行くにも気軽にでかけられて、車椅子だからと珍しがられたり振り返られたりする事なく、普通に生活が出来るようになる日が本当に来るんでしょうか？来ることを期待していますが、まあ当分は特別扱いなんですよネ。

今月4日から19日までパソコン修理の為、今日慌てて書いています。言い訳の嫌いな道子ちゃんですが、今回はこれで精一杯！！

とは言っても、いつもと変わらないんだけどネ。(笑) (^_^)-